

2018年（平成30年）8月1日

会員各位

第144回
Klub Zukunft 月例会
— 歴史・文化に親しむ会 —

厳しい暑さが続いておりますが、会員の皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、今月第144回月例会では、創業以来長期にわたって事業を継承してきた企業等が、どのような経営理念と経営技術をもって事業運営などを行ってきたのかを研究されている老舗学研究会共同代表の前川洋一郎先生にお越しいただき、日本の「老舗経営」についてお話しいただきます。

日本は創業後100年以上の長寿企業「老舗」の多いことで有名で、一説には5万社とも10万社ともいわれています。

では、なぜ日本は老舗大国なのであるのか？

第1にそもそも老舗はどうして生まれ、今日まで生き残ってきたのか？そのメカニズムを姫路の鍛冶屋・「明珍」をケースにひも解いていただきます。

第2に老舗に共通する経営パターンを日本人の武士道、実学、商人道、家訓、企業家・実業道の歴史の中でお話しいただきます。

第3には老舗の大半が中小同族であることから、日本独特の家伝と社伝を分析し欧米型とは違う日本型経営を浮き彫りにされます。

まとめに最近脚光を浴びる「公益資本主義経営」の視点から、永続繁盛の秘訣「老舗経営」を改めて解説いただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。また、皆さまのお友達にも参加の働きかけをしていただき、一緒にご出席いただければと思います。どうぞ奮ってご参加ください。

◆ 日時： 2018年8月22日（水曜日） 16:00～17:30

◆ 場所： 大阪市立大学 文化交流センター
大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
（添付の地図をご参照下さい。）

◆ テーマ： 「老舗の永続繁盛の秘訣・日本型経営」

◆ 講師： 前川洋一郎様（老舗学研究会共同代表・老舗ジャーナリスト）

◆ 参加料： 正会員； 500円 / 賛助会員&一般； 1,000円

◆ 月例会への参加はKlub Zukunftのホームページからお申し込み下さい。
<http://klubzukunft.com/>

◆ 尚、月例会終了後、懇親会を開催しますので、併せてご参加下さい。（会費は実費）
以上